

2014年1月31日

広島市教育長 尾形 完治 様

日本共産党広島市議団

中原 ひろみ

村上 あつこ

近松 さとこ

デリバリー給食集団食中毒の再発防止と自校方式への転換をもとめる申し入れ

1月24日、10校の中学校デリバリー給食でノロウイルスによる集団食中毒が発生し、300人を超える教員・生徒に健康被害が出ました。幸い重症には至りませんでした。学校給食への生徒や・保護者の信頼を大きく損ねたことは、重大です。ノロウイルスによる集団食中毒は、12月に浜松市の学校給食で1000人を超える健康被害がでたばかりです、ノロウイルスへ対策が求められていた最中、衛生管理マニュアルの徹底に問題はなかったのか原因究明と再発防止がもとめられます。また、デリバリー給食調理業者をはじめ、学校給食にかかわるすべての調理場の緊急点検をおこない、衛生管理マニュアルの徹底をもとめるものです。

今回、あらためて複数校を掛け持ちするため被害が広がったデリバリー給食の弊害も明らかになりました。今後、本市が保護者の信頼を取り戻し、二度と学校給食での集団食中毒を起こさず、安心安全な学校給食を提供するため、以下のことを申し入れます。

記

1、デリバリー給食の業者への緊急研修会や実地指導をおこない、衛生管理の徹底をおこなうこと。また、学校給食にかかわる業者への衛生管理の指導を強化すること

2、自校調理校やセンター調理場についても緊急点検を行い、衛生管理の徹底を図ること。とりわけ、ノロウイルス対策のため必要なトイレや手洗い設備の改修をおこなうこと

3、デリバリー給食を見直し、自校調理方式に転換していくこと